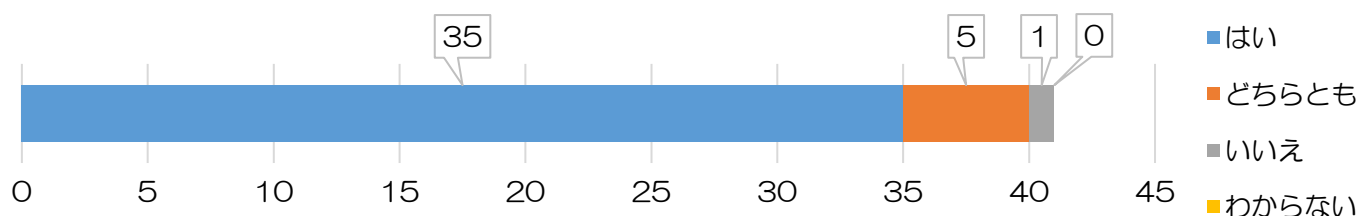


〈平成 30 年度 事業所評価アンケート報告〉

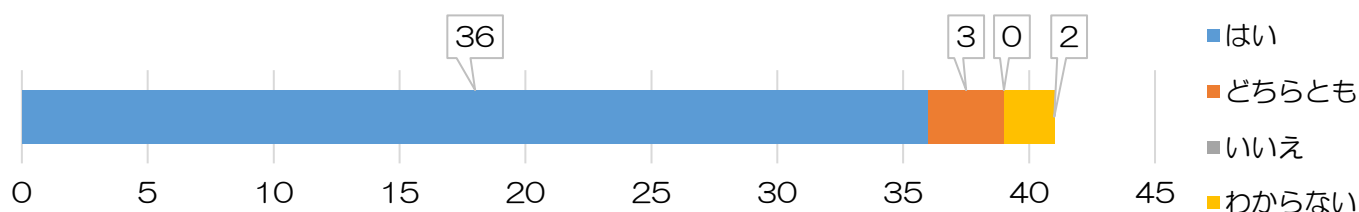
12 月に児童発達支援ガイドラインに沿った自己評価表アンケートを職員と利用者向けに実施した結果です。

① 子どもの活動などのスペースが十分に確保されているか。



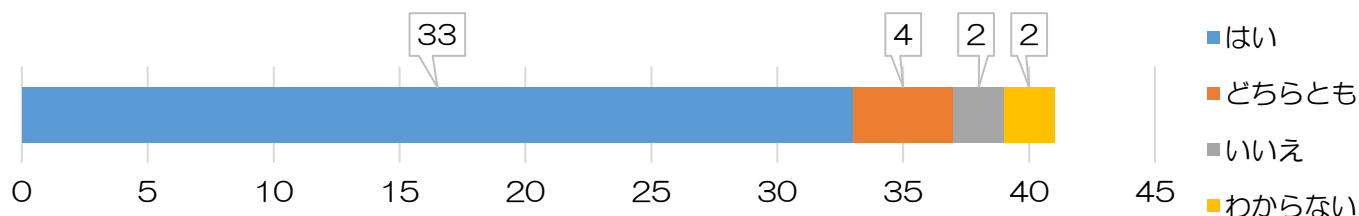
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い。 ・広すぎず、狭すぎず、丁度よい。 ・確保されているとは思いますが、親子で入室すると広くはありません。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・法令に準じた確保をしております。

② 職員の配置数や専門性は適切であるか。



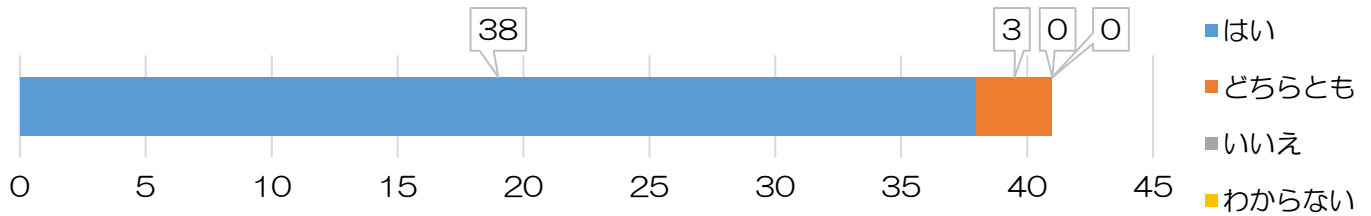
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合の先生がもっといらっしゃると、もっと良いと思う。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、理学療法士の確保は難しいですが、今後、検討していきます。

③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

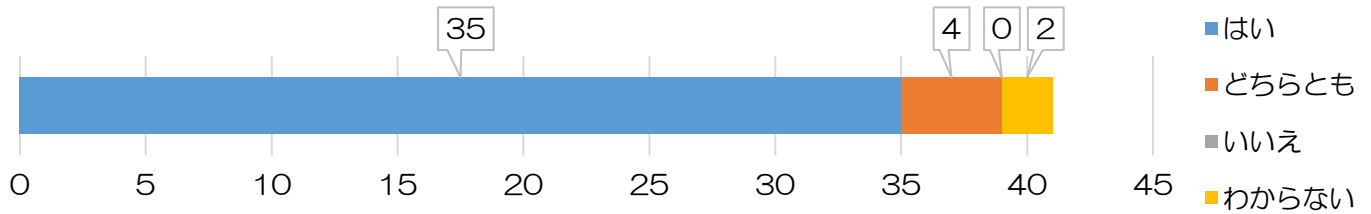


ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーではない。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い場所なのでバリアフリーは難しいですが、安全な空間を考えていきます。

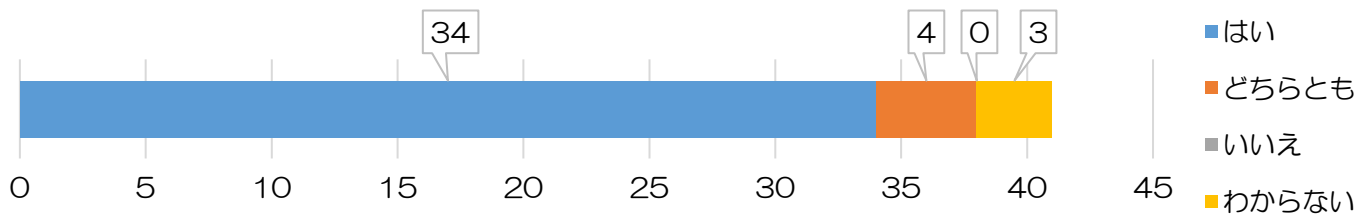
④ 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか



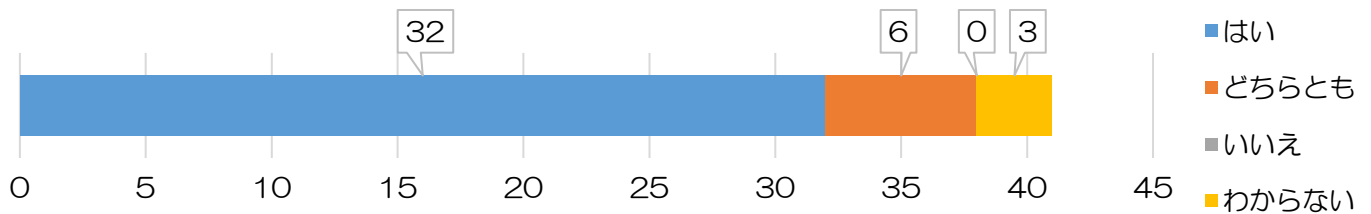
⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか



⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか

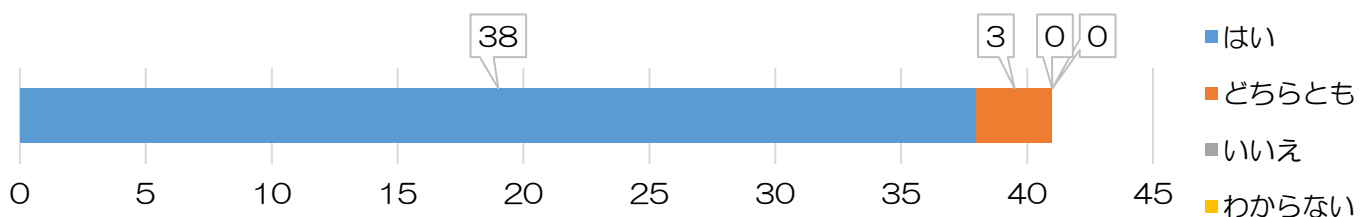


⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか

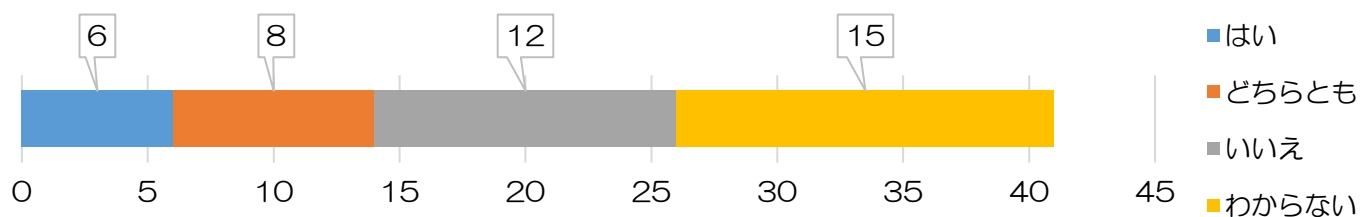


ご意見	・ある程度は。
対応	・計画に沿った支援ができるように努力していきます。

⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか

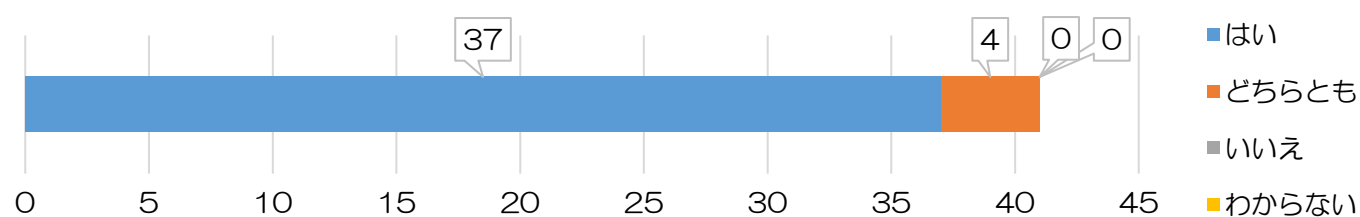


⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

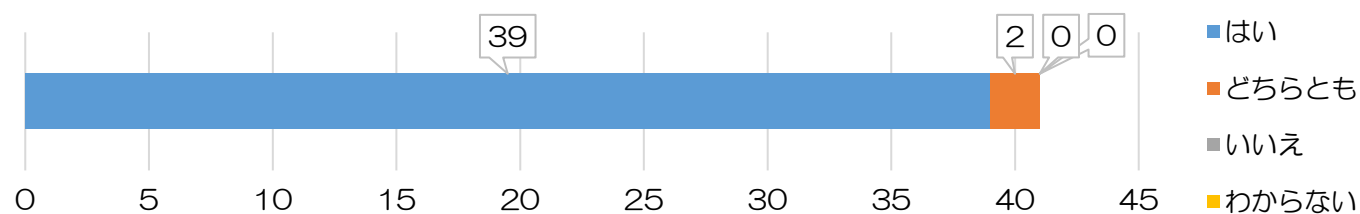


ご意見	・もともと保育園に通っているため、その支援が不要。
対応	・就園後児童は、各自の所属園で交流しています。また、NPO 法人“I am OK の会”主催の野外活動などにも参加を呼びかけていきます。

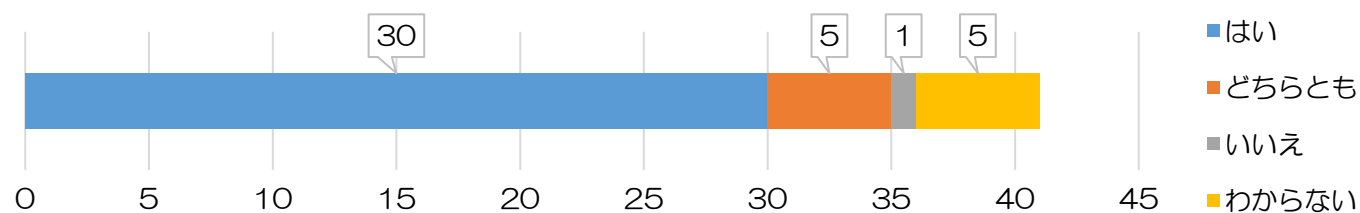
⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか



⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか

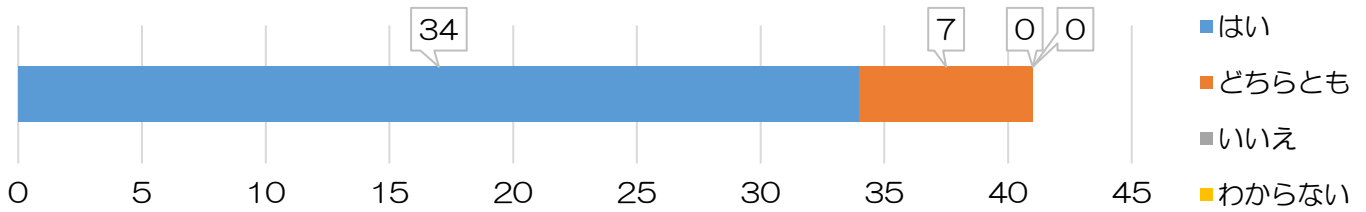


⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか



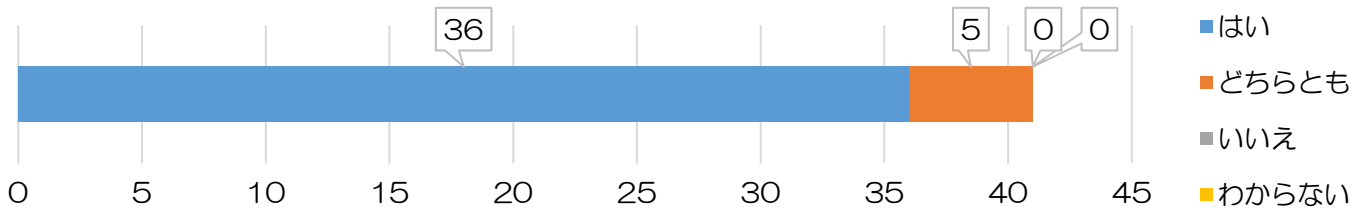
ご意見	・ペアレントトレーニングは受けたことがないが、日々関わり方を教えてもらっている。
-----	--

⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



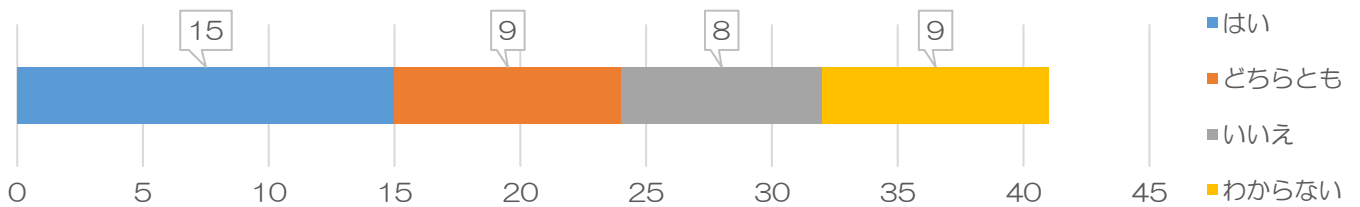
ご意見	・一方的な意見を言われることもある。
対応	・保護者との信頼関係を築き、より良い共通理解の方法を検討していきます。

⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



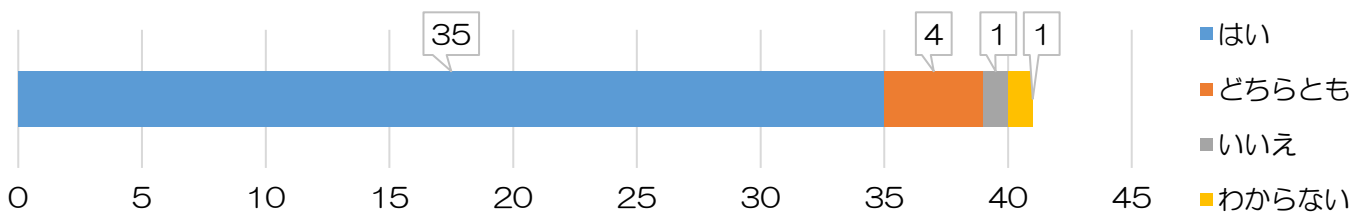
ご意見	・若い先生は良く話を聞いてくれる。 ・良くして頂いており、大変心強いです。
対応	・職員間で共通認識、統一した対応が取れるように努力します。

⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



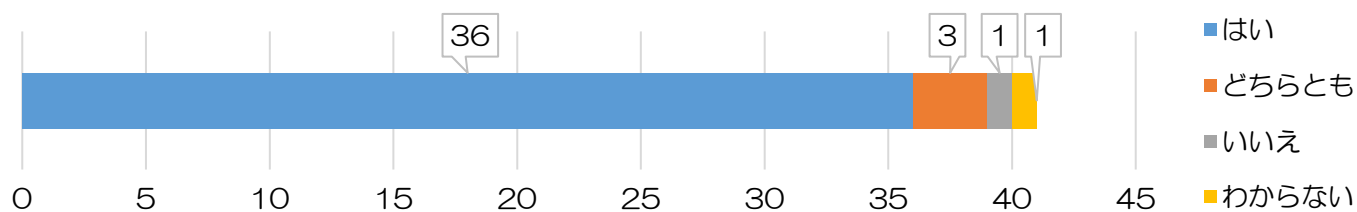
ご意見	・他の学年のママさんと一緒にお話をする機会なども作って頂き、ありがとうございます。
対応	・今後も保護者対象の親子プログラムの利用を勧めていきます。

⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか



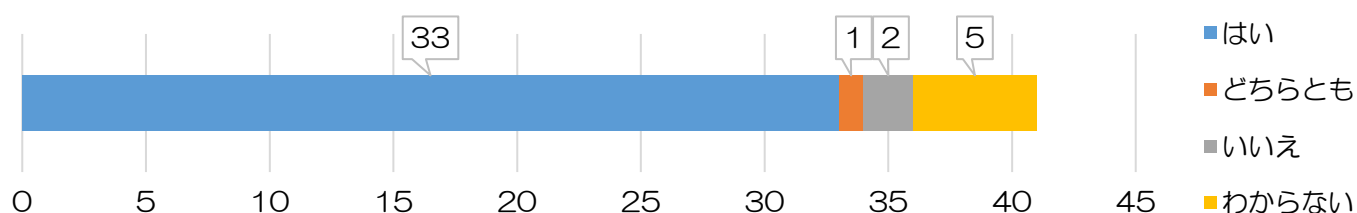
ご意見	・常に適切に対応していただいています。
対応	・今後も迅速、丁寧に対応していきます。

⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



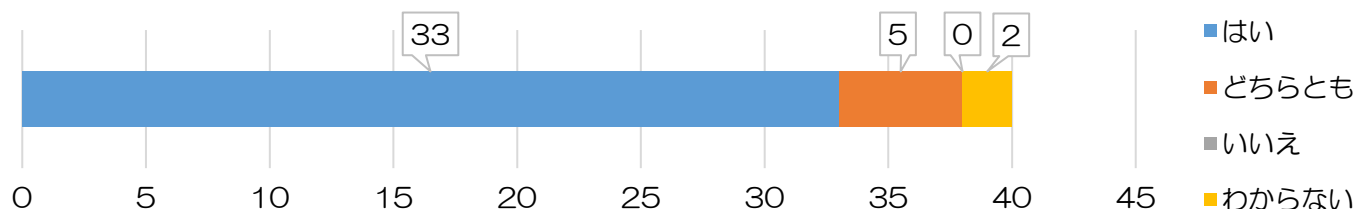
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> • 小さなことでもメールでやりとりしてくれているので、とても精神的に助かっています。
-----	--

⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか

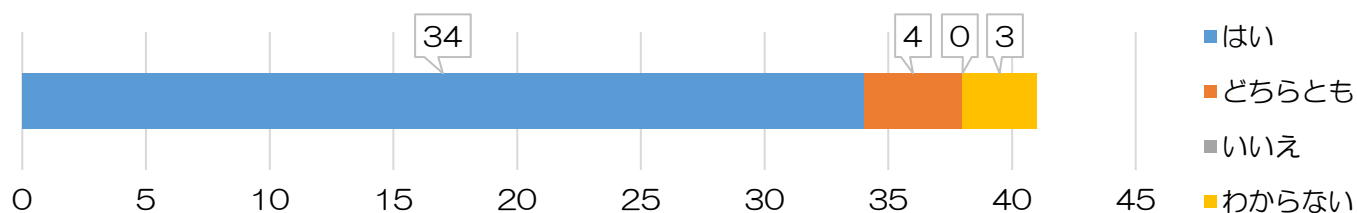


ご意見	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回の会報を読むのがとても楽しみです。 • プリントが配られます。
対応	<ul style="list-style-type: none"> • 今後、自己評価の結果をおたよりやホームページで配信していきます。

⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか

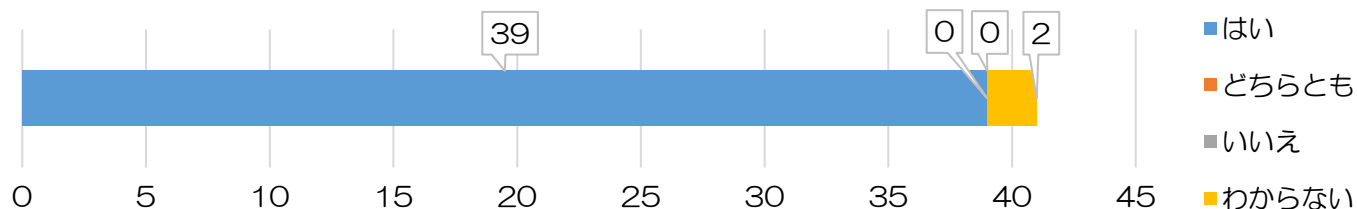


⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか



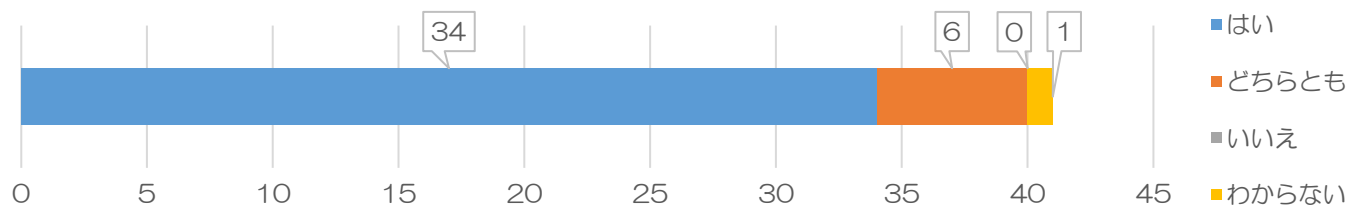
対応	<ul style="list-style-type: none"> • 各種マニュアルは作成してあるので、今後は保護者への周知を考えていきます。
----	--

㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



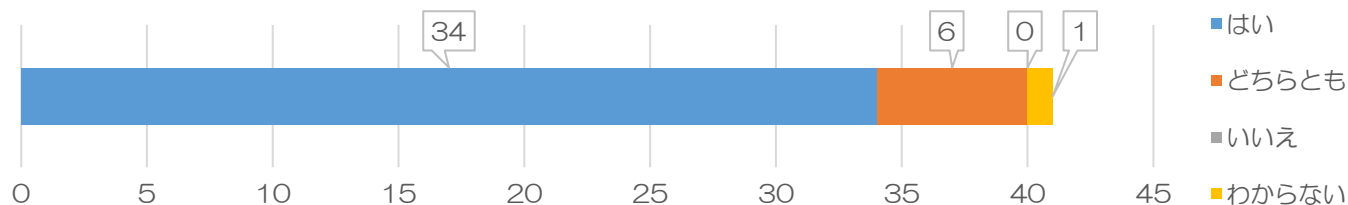
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> • 人生初の避難訓練でした。 • 訓練に参加したことはありません。
-----	--

② 子どもは通所を楽しみにしているか



ご意見	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日のようにワクワクと目を輝かせています。行かない日はテンションが低いです。 • その日の気分にもよるようです。
対応	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、努力していきます。

③ 事業所の支援に満足しているか



ご意見	<ul style="list-style-type: none"> • 満足しているところもあれば、一方的な意見に困ることも。 • 通い始めてから出来るようになったことがいっぱい増えました。まだまだですが、この調子でグングン成長すればと思います。感謝しかありません。 • 個別のプログラム（言語など）予約が取れずに受けられないのが残念です。 • 大変満足しています。
対応	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的に保護者面談しながら、ご意見をお聞きして、満足してもらえるように努力します。



アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。
皆様のお声をもとに、今後、より良い療育を目指してまいります。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

事業所における自己評価結果（公表）

平成30年12月28日

事業所名 児童発達支援 OK プラネット

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に準じた確保をしています。場所が限られているので、パーティションを使用したり、使用しないものを別室に移動したりしています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		最低人員に加えて、1名以上（専門職員）を配置しています。	子どもの状況に合わせて対応できるように、担当職員以外にもすぐに協力できる体制を作ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		狭い場所ではありますが、子どもが入れない所など、表示したり、鍵を掛けたり、子どもがわかりやすく動けるように配慮しています。また、急変時対応できるように呼び出しブザー等も付けています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃と、定期的な遊具の消毒、また子ども達の活動内容にあわせて、パーティションを開閉しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		月に一回のミーティングで、年間目標と計画を立て、年度末に業務反省をして、評価しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		モニタリングを通して、および今回の評価表の御意見を参考にして、改善に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	今までは、利用終了者にご意見を書いてもらっていました。	おたより掲載で個別配布、およびホームページにも掲載していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在はありません。	今後必要時、検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間外部研修に、多くの職員が参加しています。外部講師を呼んで、グループ指導の実地指導を受けています。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年毎に、主に担任が保護者との面談で評価および課題を話し合い、次期計画作成をしています。さまざまな領域の専門職を配置して、検討の上作成しています。	

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個別指導では、NC プログラムのアセスメントツールを、感覚統合指導では、JSI-R を、言語指導では LC スケール、新版構音検査、質問-応答関係検査を使用しています。今年度 WISC-IV2 名実施しました。	今後も必要な方に、アセスメントをしていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		一人一人の子が、家庭の中で、通園先で、地域の中で安定して生活できることを目標に、支援計画を立てています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		カンファレンスで課題、支援の共有化を図っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		グループリーダーが企画を考え、当日の指導員が打ち合わせ時、協議してプログラムを決めています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの発達に合わせて、プログラムを修正したり、変化をつけたり、季節感を入れたりしています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別指導を希望される方が多いので、集団指導で十分行えないところを、個別指導でフォローすることもあります。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		グループ開始前に、進行に沿って打ち合わせをしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		グループ終了後、カンファレンスをして振り返り、および評価・記録をしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		グループおよび個人ファイルに記録して、検証・改善に努めています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年毎に、担当者が保護者と面談して状況を聞きとり、成長を評価し、支援計画の見直しをしています。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		現在は、所内スタッフのみで行っています。	必要時、外部からの参加を促したいと思います。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		区及び保健センターとの情報交換、連携を図っています。		
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	○			現在、医療ケアの必要な子はいません。	

関係機関や保護者との連携		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、医療ケアの必要な子はいません。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	家庭連携加算で、保育園、幼稚園訪問を必要時実施し、また電話等で情報交換しています。	今後も必要時、実施していきたいです。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	ご希望により、連携シート(すばる)を作成しています。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	区のこども発達支援センターと相談したり、連携したり、研修等も受けています。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		通ってくる子が、通常の園の子どもたちなので、日常的に交流しています。また、NPO法人 I am OK の会主催の野外活動等をご案内して、参加される方もいます。今後も参加を呼び掛けていきます。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	事業所に案内が来るものには、積極的に参加しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	毎回、フィードバック、および記録で状況や課題を伝えています。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	年間8回、保護者を対象に親子プログラムの中で実施しています。	
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	契約時、説明しています。	説明をさらに丁寧に行っていきます。
③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	支援計画作成時、説明して同意を得ています。		
③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言		○	必要時、および半年ごとの支援計画見直しのヒアリング時、保護者面		

保護者への説明責任等		と支援を行っている			談しています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年間8回、保護者を対象に実施。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		定員いっぱいの際は、母体であるNPO 法人が実施している無料の相談室をご案内し、担当者がお話を聞いています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回おたよりを全員に配布しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		入所時、個人情報の取り扱いの説明と同意を得ています。また、鍵付キャビネットに記録類は保管しています。	更に十分に注意をしています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		一部ベビーサインを活用しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		ハロウィーン等で近所のお店に協力してもらい、お菓子を渡して頂いたり、子ども達と交流してもらっています。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルは作成していますが、まだ保護者に周知、および発生想定職員訓練はしていません。	今後、保護者への周知を検討していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年1回、各グループで避難訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		入所時、および年一回の更新時、状況確認しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	入所時、および食品を出す行事の前に確認しています。	今まで指示書はもらっていません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事故が起こった時のみ記録に残しています。	今後検討します。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修に参加しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	原則、身体拘束することはありません。	子どものパニック時、自傷他害の危険がある時にどう対応するか検討が今後の課題です。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。